

江藤サポーター 議会議員研修会概要(案)

- 日程:令和3年1月23日(土曜日)
 - 15時～16時30分:講演
 - 16時50分～18時:議員研修会
 - 18時30分～:懇親会(予定)
- 場所:芽室町役場3階 本会議場(河西郡芽室町東2条2丁目)
- 宿泊・移動等:(要確認)
- 研修講師料:(予算内 講師料+宿泊・移動相当分) ※他議会とも要調整
- 概要:

①第一部:【講演会】

講師:江藤 俊昭 教授

(講演 演題):「議会力をアップさせる議員報酬・定数」

～ これからの地方議会の報酬・定数を考える ～

対象:本町議会議員+議会モニター+議会諮問委員+町民(町外は情報提供)

場所:芽室町役場3階 本会議場

(人数制限・オンライン含む議場外視聴対応検討)

P
3
別
紙

②第二部【講師と議員との意見交換・勉強会】

座長:江藤 俊昭 教授

テーマ:「これまで、そして、これからの議会活動を考えてみよう」

対象:本町議会議員

場所:芽室町役場3階 委員会室

形式:

- 講師が座長として講話。
- 議員は随時、質疑、意見交換可能。
- 必要に応じ、基礎資料を用意(講師からの指示による)

■講師動向:

1/22(金):羽田→ 夕方帯広入り (10:20 まで授業)

1/23(土):芽室町議会 議員研修会

終了後 懇親会(町内飲食店) → 宿泊:帯広市内?-送迎要

1/24(日):

1/25(月):帰京予定

	羽田		帯広
JAL577	13:15	⇒	14:50
ADO067	16:55	⇒	18:30

■懇親会

・時間:おおむね18時30分 →開催の是非含めて状況次第で検討

・場所:[未定]

講演会・議員研修会 概要

★平成27年度からの報酬増額を行った当議会。その後も、活動量は近隣議会の中でも頭一つ抜けている状況でありながら、前回改選時の他議会議員報酬の増額などから、一般議員報酬額は5番目（議長報酬では6番目）となっている。「十勝標準」と呼ばれる、活動量を基礎とした報酬額算定の考え方は、当議会においても先の報酬議論において採用した算定方式でもあるが、以後、報酬・定数に関する議論は行われてない中でも、議会基本条例に基づく情報公開と住民参加を軸とした多様な議会活動は、弛まず継続されている。一方、議員選挙における投票率低下傾向は変わらず、今後の「なり手」に懸念が生じる状況が生まれつつある。本研修会は、「多様ななり手の創出」と「真に住民福祉の向上に向けた議会力アップ」のため、報酬・定数、他要素含め環境整備を今後どのように行っていくべきか、その提言をいただくとともに、住民自治の形としての議会・議員の姿を考える起点とするものである。

[研修ポイント (案)]

【第一部 講演会】

- これからの住民自治を進めるうえでの根幹である「議会」をしっかりと動かすために
- 住民の福祉向上のために「動く議会」となるための条件
- 「住民代表」の議員から「議会が政策論議する機関」の構成員としての議員へ
- 投票率の低下、なり手不足から地方議会議員の役割を考える
- 次の任期に向けて「報酬・定数」を議論するキックオフとなる機会とする

- ▼報酬は高い？安い？ いくらだったら妥当？定数は多い？少ない？妥当？
- ▼報酬の区分は、現状で十分か？（役職議員と一般議員、副委員長…）
- ▼報酬以外のファクターをどう考える？（手当・年金・政務活動費…）
- ▼委員会数と「討論」できる定数とは

【第二部 講師と議員との意見交換・勉強会】

- 講師が座長となり、①当日の講演聴講を通して、一期生から講師へ質問を。
- ②改選からほぼ2年、折り返しを迎えるにあたり、これまでの活動を振り返り、「1期生」、「2期生」以降議員、それぞれ何を学び、何を目指していくべきなのか、気づきに繋がる示唆をいただくとよい。
- 『二元代表制』をどう考える？

別紙

■参加・周知対象

- 本町議会議員
- 議会モニター＋議会諮問委員(経験者含む) ⇒個別に文書通知
－個別に出席・参加意思を「回収」

- 町民 ⇒議会HP、SNS で周知(チラシ折り込みは入れない)
－HP・Facebook からメール、イベントフォームで参加者を把握

－以上、来場を「可」として実施

- 町外・管内他議会 ⇒議会中継をご覧くださいよう案内

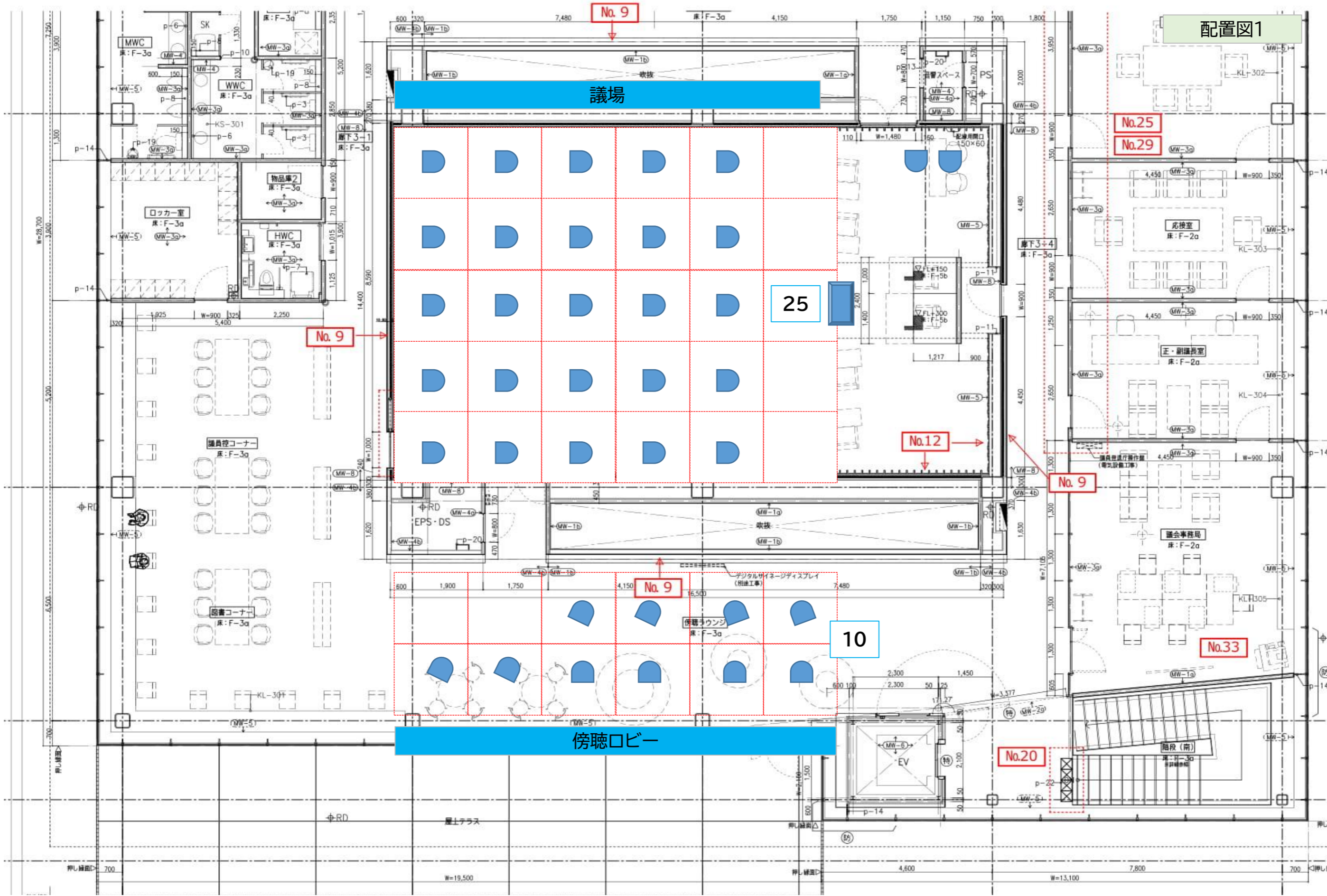
■聴講の場所

- 本会議場 [25]
- 傍聴ロビー [10]
- 説明員室 [9] 合計:44人

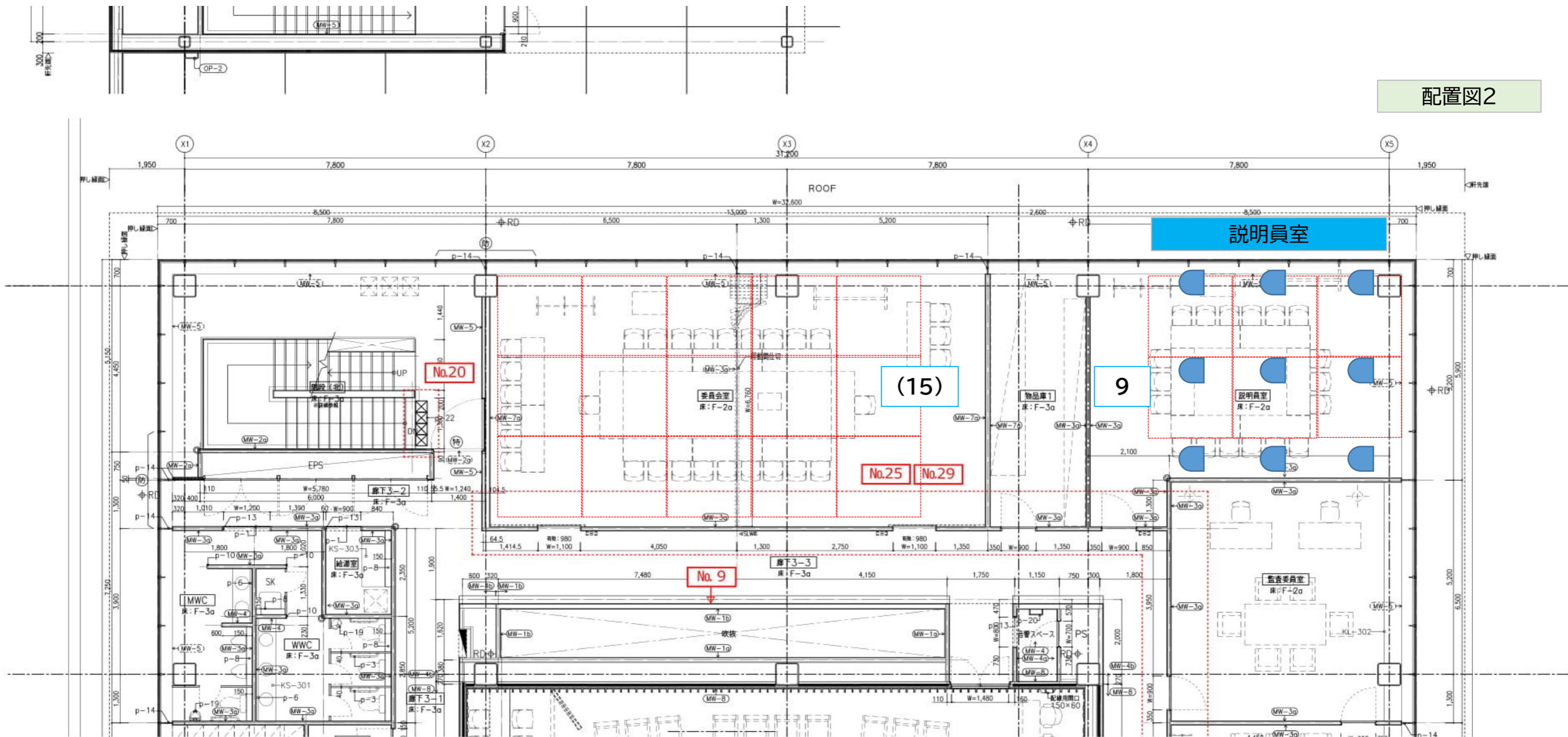
配置図参照

- オンライン ⇒ 基本的には「議会中継」で

配置図1



配置図2



例	【壁凡例】	【壁出隅凡例】 (图中◎印)	【建築工事】
床下点検口: 600×600 かが付	コンクリート壁	壁: コンクリート下地の場合 → 面取り W15: H1,500まで	p-1 床見切: W6 SUS-FB-6×15 HL
マンホール: 600φ, 簡易気密型	FP板	壁: EP-G塗装の場合 → 増ビジョイナー	p-2 汚垂石: 花崗岩 t20 半磨き D600
消火器BOX (整理め込み型)	発泡ウレタン	壁: 合板仕上げの場合 → FB t3×13 小口1.5 EP-G	p-3 L型手摺
消火器BOX (床置き型)	グラスウール		p-4 小便器用手摺
ルーフドレイン (整引・機械設備工事)			p-5 跳上げ式手摺
屋内消火設備			p-6 鏡: 300×1200
設備分電盤 (電気設備工事)			p-7 おむつ交換台
タッチパネル (別途工事)			p-8 ライニング: ポストフォーム
			p-9 ライニング: SUS t1.0 曲げ加工HL
			p-10 壁紙: スチール t1.6曲げ加工 見付25
			p-11 壁紙: 集成材 EP-G 見付20
			p-12 SLW受け: FB t6.0 EP-G
			p-13 三方枠: 集成材 EP-G 見付20. H2,100
			p-14 方立塞ぎ1: スチール t1.6 曲げ加工 GW24kg/m3充填
			p-15 方立塞ぎ2: 青木 EP-G
			p-16 制震ダンパー点検用ハッチ: 有効開口W6,850×D600 蓋: モルタル充填式既製蓋割 外枠: (四方): St-PL t6.0 新曲加工 L75×75 ※デッキスタブ設置
			p-17 衣紋掛け: SUSパイプ 25φ 壁付け金物共
			p-18 三方枠: カラマツ合板 EP-G 見付24. H2,100
			p-19 ベビーキープ
			p-20 タラップ St-φ34 EP-G
			p-21 伸縮目地: エラストイト目地 t10 ◎2,600×2,600
			p-22 誘導線: 点状 φ22 SUS-HL 線数25個 (300角)
			p-23 誘導線: 線状 27×290 SUS-HL 4個 (300角)

アトリエバンク・創造設計舎 設計共同企業体
 代表者: 株式会社アトリエバンク 一級建築士事務所登録 (石) 第426号

NOTE

代表となる設計者	一級建築士 210026号	加藤 誠	責任
その他の設計者	一級建築士 350787号	池村 実々	責任
その他の設計者	一級建築士 216909号	大田 豊	責任

NOTE
 茅室町役場庁舎整備工事 (建築主材)
 TITLE
 平面詳細図 (B) 3階北側, R階
 SCALE
 A1: 1/60 (A3: 1/120)